

■ 日時

2018年5月14日(月)13:00-17:30

研究・提言発表&テーブルディスカッション、質疑応答・気づき発表

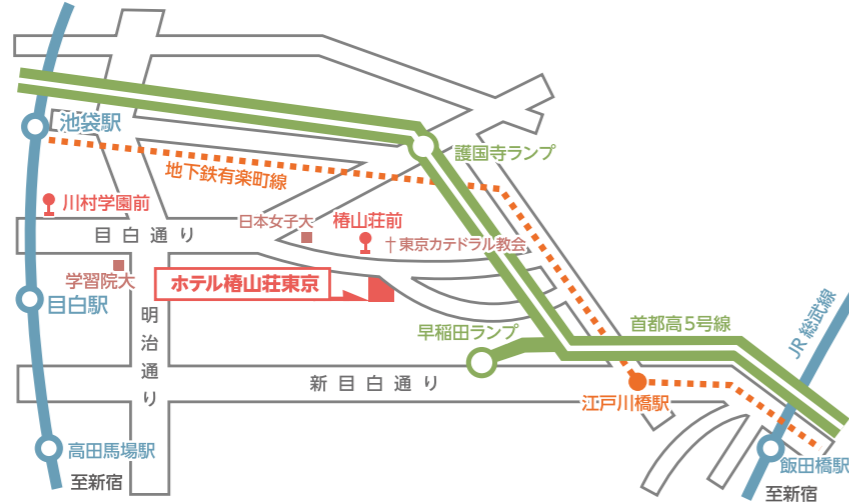
■ 場所

ホテル椿山荘東京 1F ギャラクシー

〒112-8680 東京都文京区関口 2-10-8

TEL: 03-3943-1111(代表)

ホームページ: <http://hotel-chinzanso-tokyo.jp/>



■ バスご利用の場合

JR 目白駅改札口右手、川村学園前から都バス・ホテル椿山荘東京行き、又は新宿西口行きにて「ホテル椿山荘東京」下車、約 10 分

■ タクシーご利用の場合

目白、池袋、高田馬場、飯田橋の各駅から約 10 分
※交通事情により所要時間が多少かわる場合がございます

■ 地下鉄ご利用の場合

有楽町線「江戸川橋駅」下車、1a 出口から徒歩約 10 分

■ 会費

KAE 会会員無料 一般 5,000 円 (消費税込)

■ 主催

株式会社 山城経営研究所

■ お申込方法

WEBにてお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S65742528/>



■ お申込締切

2018年5月7日(月)

■ お問い合わせ先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36 S&Sビルディング 3F

株式会社 山城経営研究所

担当: 堀越 勝

電話: 03-6674-1836 FAX: 03-5228-1233

電子メール: horikoshi@kae-yamashiro.co.jp

シンポジウム

「新たなる経営、新たなる道への提言」

第 62 期 経営道フォーラム 研究・提言発表



日時: 2018年5月14日(月)13:00

ホテル椿山荘 1F ギャラクシー

山城経営研究所

第62期 経営道フォーラム 研究・提言内容

[1]

変化対応力を高める企業文化の生成

違いを活かすリーダーシップの在り方

13:10

AO₂の逆襲

海老澤 栄一
コーディネーター

経営の意思決定は、最良で合理的な「最適解」であろうとする。しかし、経営環境がめまぐるしく変化する現代において、その合理性には自ずと限界がある。

そうした合理性では扱えない問題解決のために我々は、多様な価値を認め、取り入れて、相互補完する“相補性”を活かす企業文化を生成する事が一つの解であると考えた。組織の変化対応力の向上と強化に繋がる企業文化生成の為にリーダーシップの在り方について探求を行い提言する。

JBCCホールディングス 株式会社

昭和産業 株式会社

株式会社 日立ビルシステム

東日本旅客鉄道 株式会社

株式会社 NTTデータSMS

株式会社 ニチレイフーズ

株式会社 明治

[2]

時代の変化に対応した活力のある事業経営

社員が輝き、事業が輝くW-shining 経営

13:55
happiness

大月 博司
コーディネーター

従業員の価値観が多様化するこれからの時代、従業員のやる気を維持させ、個々の個性を活かす経営を行うことが発展性を伴った活力のある事業経営につながる考えた。そこで我々は、やる気を落とした従業員に着目し、「2-6-2」の法則における「6」を改善し「3-5-2」や「4-4-2」にすることを目指し、従業員のやる気の低下に至る源・要因を見つけ、排除することで社員も事業も輝き続け、活力あるW-shining経営を実現する提言を行う。

I・T・O 株式会社

株式会社 ユアテック

株式会社 日立ビルシステム

日清オイリオグループ 株式会社

株式会社 富士通エフサス

高砂熱学工業 株式会社

インフォテック 株式会社

株式会社 日立マネジメントパートナー

[3]

グループ経営における競争力の持続的確保

グループ会社経営者の淀みない輩出から

14:55
Team
Planeta Lupita

大月 博司
コーディネーター

環境変化が加速する中、グループ経営の競争力を持続的に確保するためには、従来の親会社を頂点としたピラミッド構造のグループ経営だけでは限界がある。この課題を解決するためには、グループ企業間同士の「求心力」と「遠心力」を上手く創り出し活用することが必要だと考えている。われわれは、これからのグループ経営のあり方とそこで求められるグループ会社経営者像を探求し、競争力の持続的確保を実現する新しいマネジメントのあり方を提言する。

株式会社 日立システムズフィールドサービス

株式会社 荏原製作所

積水ハウス 株式会社

株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・ウェーブ

北越紀州製紙 株式会社

株式会社 アドバンテスト

株式会社 メタルワン

東北電力 株式会社

[4]

創造的企業であり続けるための新たなマネジメントスタイル

“インサイト”と“創発”の共鳴(resonance)を活かして

15:40
チーム
ハイブリッド

岡本 正耿
コーディネーター

多様で多重化している大競争時代においては、顧客の気付いていない独自価値をいち早く創り出す企業であり続ける必要がある。我々は、インサイトと創発の実例を研究し、それらの関係性・メカニズムを解析し、継続的なイノベーションを意図的に発生させる新たなマネジメントスタイルを提言する。

キューピー 株式会社

株式会社 埼玉りそな銀行

レンゴー 株式会社

日立キャピタル 株式会社

日本アイ・ビー・エム 株式会社

亀田製菓 株式会社

マクセル 株式会社

スケジュール

■ 会場

ホテル椿山荘東京 1Fギャラクシー

■ 開会 13:00

■ 発表 13:10~16:25

■ テーブルディスカッション、
質疑応答・気づき発表 16:25~17:30

13:00	開会	14:55	[3] Team Planeta Lupita
13:10	[1] AO ₂ の逆襲	15:40	[4] チームハイブリッド
13:55	[2] happiness	16:25	テーブルディスカッション、 質疑応答・気づき発表
14:40	休憩(10分)	17:30	閉会

コーディネーター

神奈川大学
名誉教授

海老澤 栄一 氏

変化対応力を高める経営、
魅力ある経営の探索に関する内容



神奈川大学卒業。早稲田大学大学院商学研究科博士課程中途退学。経営学博士(中央大学)。シェル石油(株)、東京電子専門学校を経て、神奈川大学教授、大学院経営学

学術研究科委員長、経営学部長、国際経営研究所長を歴任。主に横浜市と平塚市で10を超える種々の委員会、研究会を主催。東京都では複数の一般社団法人の専門委員会に所属し委員長を歴任。主要著書：『魅力ある経営』学文社(2007年)編著、『生命力のある組織』中央経済社(1998年)、『地球村時代の経営管理』文真堂(2000年)、他多数。

早稲田大学商学学術院
教授

大月 博司 氏

効率性と社会性からみた事業経営のあり方、
競争力の創出とその持続的確保に関する内容



早稲田大学商学部卒業。早稲田大学博士(商学)。北海学園大学経営学部教授を経て2004年より現職。ワシントン大学ビジネススクール客員研究員、

デューク大学フクアスクール客員研究員、カーティフ大学ビジネススクール客員研究員を歴任。その他、明治大学大学院ビジネススクール兼任講師、日本経営学会常任理事、経営哲学学会常任理事、経営戦略学会会長などを歴任。主要著書：『組織変革とパラドックス(改訂版)』同文館出版(2005年)、他多数。

㈱マーケティングプロモーションセンター
代表取締役

岡本 正耿 氏

インサイト志向のマネジメント、
創発組織と創発的変革に関する内容



早稲田大学大学院客員教授、同大学ビジネススクール講師。前日本経営品質賞制度検討委員会委員長。日本能率協会マネジメントスクール

専任講師。秋田県・岩手県・千葉県・三重県・茨城県・埼玉県・新潟県経営品質協議会の各判定委員長、中国地方経営品質賞委員会副委員長、会津若松市経営品質賞委員会委員長。主要著書：『要点解説マーケティング実務入門』生産性出版(2009年)、他多数。